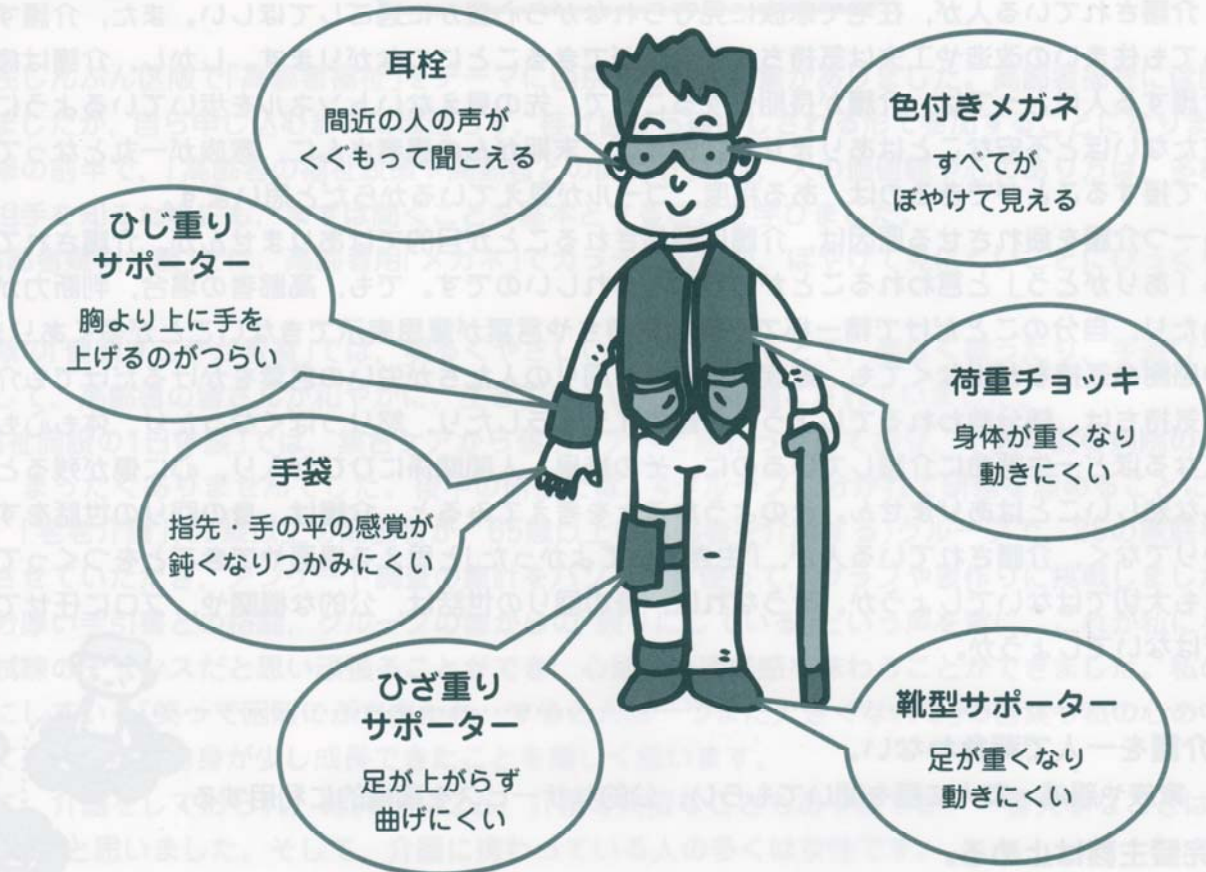


うらしま太郎(高齢者疑似体験) ▶ 75歳~80歳に変身!



特別養護老人ホームを訪問して

- 身体が不自由になられた方がイスから立ち上がり、座り、歩くのリハビリを自宅に帰りたい一心で励んでおられた。
- 一人の介護士さんが、数人の入所の方に一度にお食事をさせてあげていた。
- 個人的な荷物は最小限しか持って入れない。
- 入所者の方と一緒に唄をうたっていた介護士さんの姿がほほえましい。



『西京塾』における高齢者の福祉ニーズ調査

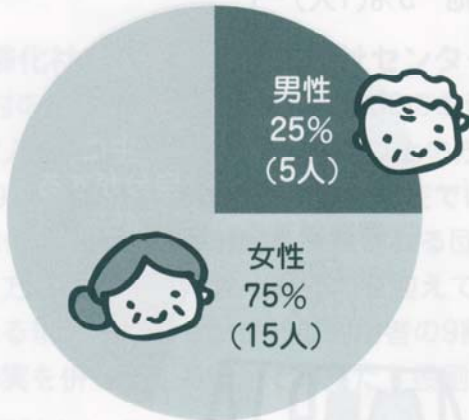
<調査の目的> 高齢者は、全体としてみると健康で活動的であり、経済的にも豊かになっています。他方、高齢者の状況は、性別、健康状態、経済力、住居、その他個々人の趣味や嗜好など日常生活全般にわたって多様化しています。

こうした中、高齢者が健やかで充実した生活を営むことができる豊かな社会を築くために、生活者としての高齢者の視点から日常生活全般にかかわる現状を把握し、今後の高齢社会対策に資することを目的として実施しました。

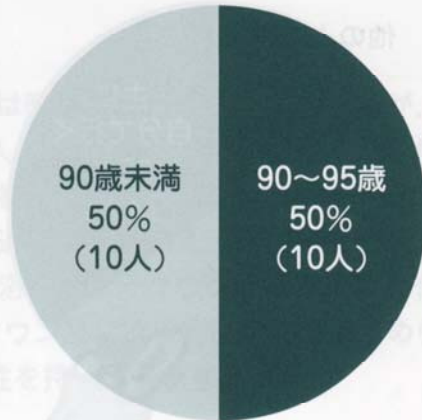
- <調査の対象者> 桂東学区、新林学区の在宅の88歳以上の長寿高齢者の20名。
- <調査対象者の選定> 在宅で、ご自身でこのアンケートをお答えいただける方を対象。
- <調査方法> 塾生、担当民生委員同行によるご本人への聞き取り調査法。
- <調査期間> 2006年1月25日~2月4日



Q 性別は？

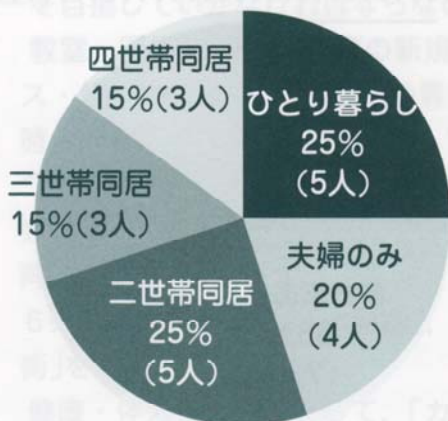


Q 年齢は？



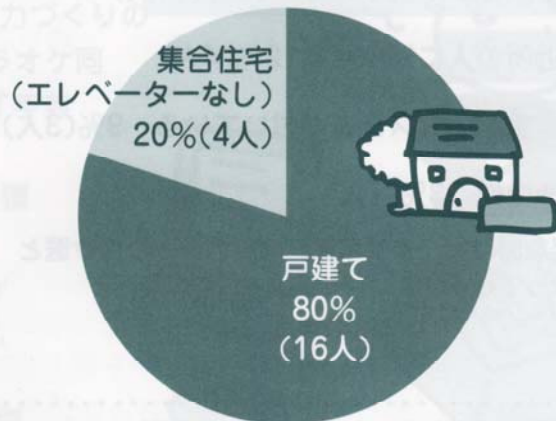
*平成17年7月現在、西京区の
88歳以上の人口 1,566人
100歳以上の人口 26人

Q 世帯構成は？



*兄弟姉妹のみは0人でした。
*ひとり暮らしの高齢者が4人に1人です。サポートの必要があります。
一方では、核家族化が進む中、四世帯同居が3人もあり、うれしい驚きです。

Q 住宅形態は？



*さまざまな環境にめぐまれた方が多いと感じました。

Q 健康状態は？(複数回答)

- 健康で普通に生活している 38%(12人)
- 家の中では自分の事はできる 28%(9人)
- 1人で外出できる 22%(7人)
- 手助けはあるが、ほぼ自分の事はできる 9%(3人)
- その他 3%(1人)

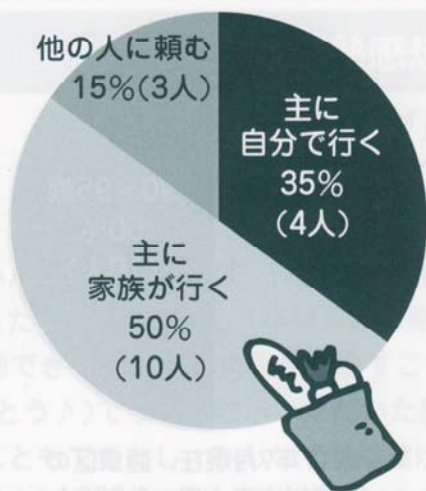
*ほとんどは健康な方でした。



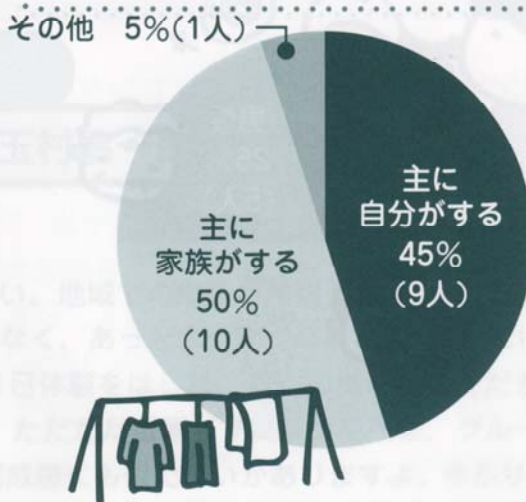
学生のご感想文

グループを代表して、感想文を提出していただきました。

Q 日常生活における自立度
～買い物



Q 日常生活における自立度
～家事全般

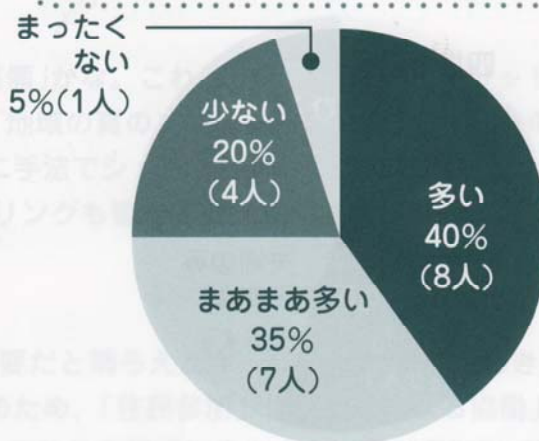


Q 緊急時や急病の場合の連絡先
(重複回答)

- 家族・親族に知らせる 44%(15人)
- かかりつけ医がある 32%(11人)
- 近所の人に知らせる 12%(4人)
- 緊急通報システムが付いている 9%(3人)
- その他 3%(1人)

* 緊急時には、まず家族、次いでかかりつけ医となっています。

Q ご近所や地域との交流



* 近所や地域との交流が「少ない」「まったくない」が、25%あります。交流場所の案内・広報の必要を実感しました。

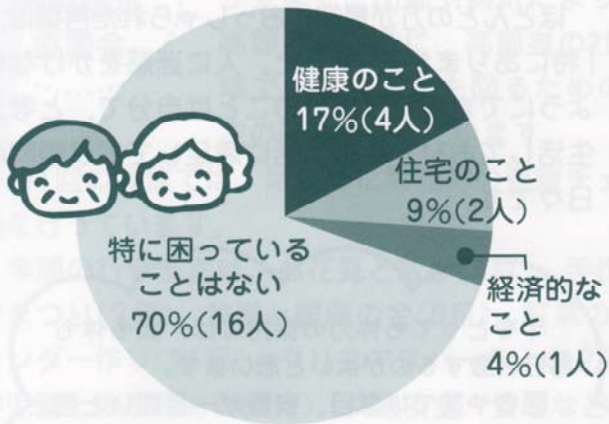
Q 他の人と交流される場所
(重複回答)

- 老人クラブ 24%(8人)
- 町内会・自治会 17%(6人)
- 病院 14%(5人)
- 趣味のサークル 11%(4人)
- 教養のサークル 11%(4人)
- 健康・スポーツのサークル 3%(1人)
- その他(近所・友人・知人・散髪屋・お寺) 20%(7人)



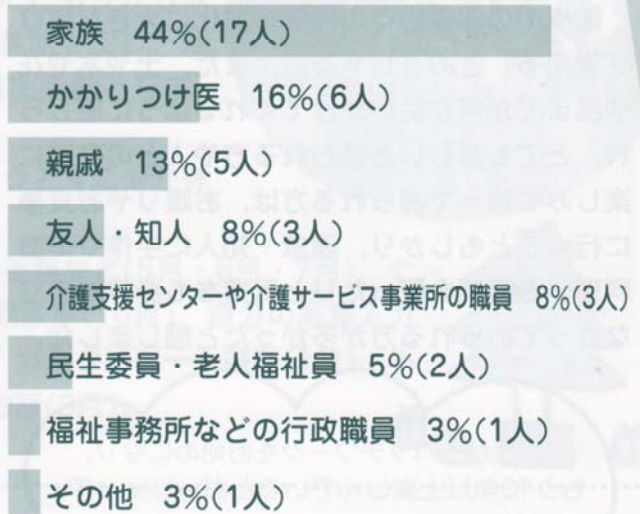
* 身近な町内会などに、交流場所をもとめる傾向を感じました。

Q 今どんなことで困っていますか？



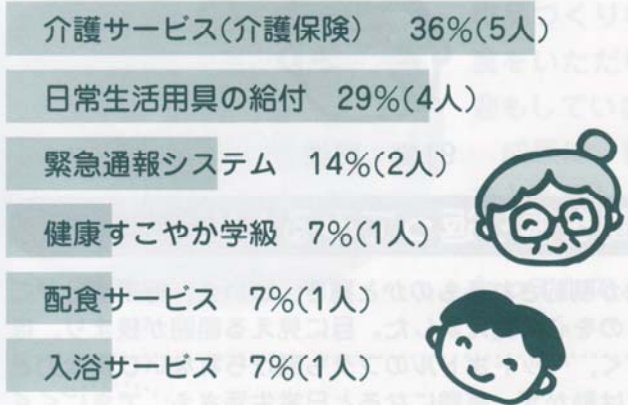
*特に困っていることがなくても、健康や住宅のことが気になりて感じました。

Q 悩みや心配ごとがある場合の相談相手(重複回答)

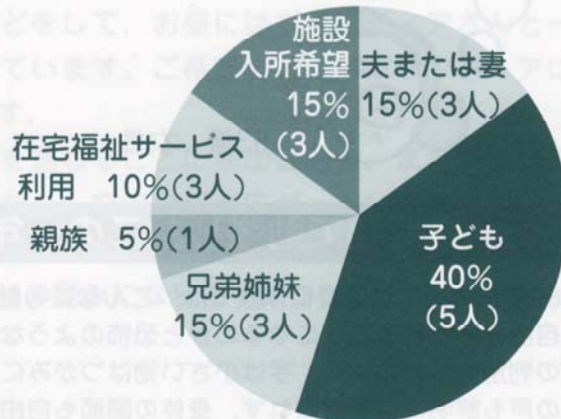


*家族・親戚が多数を占め、次いで、かかりつけ医となり、各種行政の福祉機関に相談する気持ちは少ないようです。

Q 福祉サービスの利用状況 (重複回答)



Q 今後、介護が必要となった場合誰に介護してほしいですか？



*身内に介護してもらいたいとの希望が70%を超えています。

Q 今後利用したい福祉サービス (重複回答)

- 介護サービス(介護保険)……………1人
- 日常生活用具の給付……………1人
- 配食サービス……………1人
- 入浴サービス……………1人
- 施設サービス……………1人

*行政による長寿高齢者への福祉サービスに対する広報(情報提供など)が不足しています。また地域、ボランティアによる広報支援の必要性(重要性)を感じました。



Q 今、楽しみにしていること

散歩での四季折々の自然の変化に大きな喜びを覚える、とおっしゃる方、また、土や木や花や風までが何か話しかけてくれるように感じられ、とても楽しいと言われる方や人との交流に楽しみを持っておられる方は、お喋りやお食事に行くこともしっかり、親戚・知人に手作りのお料理、お野菜を配ったりと気持ちも身体も自立なさっておられる方が多かったと感じました。

(80歳からパッチワークをお始めになり、もう10年以上楽しんでいるとおっしゃっています)

楽しくて夢中で取り組んでいると時間を忘れます。布を眺めているのが大好きで、夜中に目が覚めて布を並べたり、図案を考えたりもしています。様々な場所で発表しているので、励みになっています。



93歳 女性

Q ご意見、要望など自由にお聞かせください

ほとんどの方が最初におっしゃられた言葉は、「特にありません」でした。人に迷惑をかけないようにできるだけ自分のことは自分で、と考え生活しており、今の生活に満足しており感謝の日々です。

年をとっても体力の保持には、頭も体も毎日刺激するのがよいと思います。

医者や薬では駄目、安静が一番悪いと思います。頭も体も動かすことが何より肝心かと思います。

私は毎日畑まで2km歩き、畑では多少重いものも運びますし、毎日くりかえしています。

雨でも風でも畑に行くように怠け心との戦いで自分に負けないことが大事だと思います。



91歳 男性

西京塾で勉強したこの一年間を振り返ってみると!!

最初の80歳位の人になる疑似体験では、こんなにも動きが制約されるものかと驚き、いいえ、将来自分がこんな風に自由を奪われることになるのかと恐怖のようなものを心に覚えめました。目に見える範囲が狭まり、ぼやけ、色の判別もつきにくく、手は小さい物をつかみにくく、ペットボトルのフタも開けられないひ弱な力となり、人の声も鮮明には聞き取れず、身体の関節も自由には動かず、高齢になると日常生活さえ、できにくくなるのだと実感しました。

体験学習の特別養護老人ホームのデイサービス、高齢者対象のサロンで感じたことは、あまりにも“至れり尽くせり”過ぎるのでは(世話をやきすぎる)。全員が同じこと、同じ動きをしなくてはいけないというシステムになっているのはしんどいと感じられる方もおられるのでは。ぼんやりと外を眺めたい方や、人のなさっていることを見ているだけで良いと思っておられる方もおいでではないのかと…。デイサービスでの入浴サービスは専門の資格をお持ちの方の手助けで、安心して入れるのではと感じました。

聞き取り調査について④グループは、88歳以上の長寿高齢者対象にインタビュー形式にて実施しました。寒い時期でご高齢の方々が風邪など引かれなかと心配でした。

調査結果は別ページのとおりですが、心に残ったことは、私の意識の中では、弱々しく非行動的な日常を過ごしておられると思っていましたが、実際お会いした方々の肌は艶やか、気持ちは前向き、ほとんどの方が趣味をお持ちで、人との交流もあり、外出もなさっておられるという現実でした。88歳を過ぎてもお元気だということは、心の自立はもちろん、健康にも留意なさっておいでで、自分のことは自分でするというのがほとんどの方の言葉でした。自分の認識を改めるとともにお会いした方々のように元気で自立した高齢者になりたいものだと心から感じました。

